



# IR説明会資料 (2012年3月期決算)

株式会社 極 洋 (1301)

<http://www.kyokuyo.co.jp>

## ■ 2012年3月期概要説明

トピックス	3P
企業集団の概況	4P
決算概要	5P-17P

## ■ 中期経営計画「キョクヨーグループ チャレンジ2012」の総括

最終年度(2012年3月期)実績と計画比	19P
成果と課題	20P

## ■ 中期経営計画「パワーアップキョクヨー2015」の概要

「パワーアップキョクヨー2015」の基本方針・目標値	22-23P
事業セグメント別施策	24-28P

## ■ 2013年3月期業績予想及び施策

基本方針	30P
連結・単独業績予想	31P
事業セグメント別連結売上高・営業利益予想	32P
事業セグメント別施策	33-36P
設備投資計画	37P 1

# 2012年3月期概要説明



# トピックス

## ■ 福井代表取締役会長CEO、多田代表取締役社長就任、新体制スタート (2011年4月)

## ■ スモークサーモンが3年連続モンドセレクション金賞を受賞 (2011年6月)

- ・国際優秀品質賞も併せて受賞
- ・同時出品のジョッキ製品”ドライスモークサーモン ～燻～”も銀賞を受賞

## ■ 海外まき網事業における合併会社設立 (2011年7月、9月)

- ・水産資源の安定確保とその有効利用及び漁業を保有する島嶼国の経済発展への貢献を目的とする
- ・「Kiribati and Kyokuyo Co.,Ltd.」と「KF(PNG)Ltd.」の2社

## ■ クロマグロ等の養殖事業における業務提携 (2011年9月)

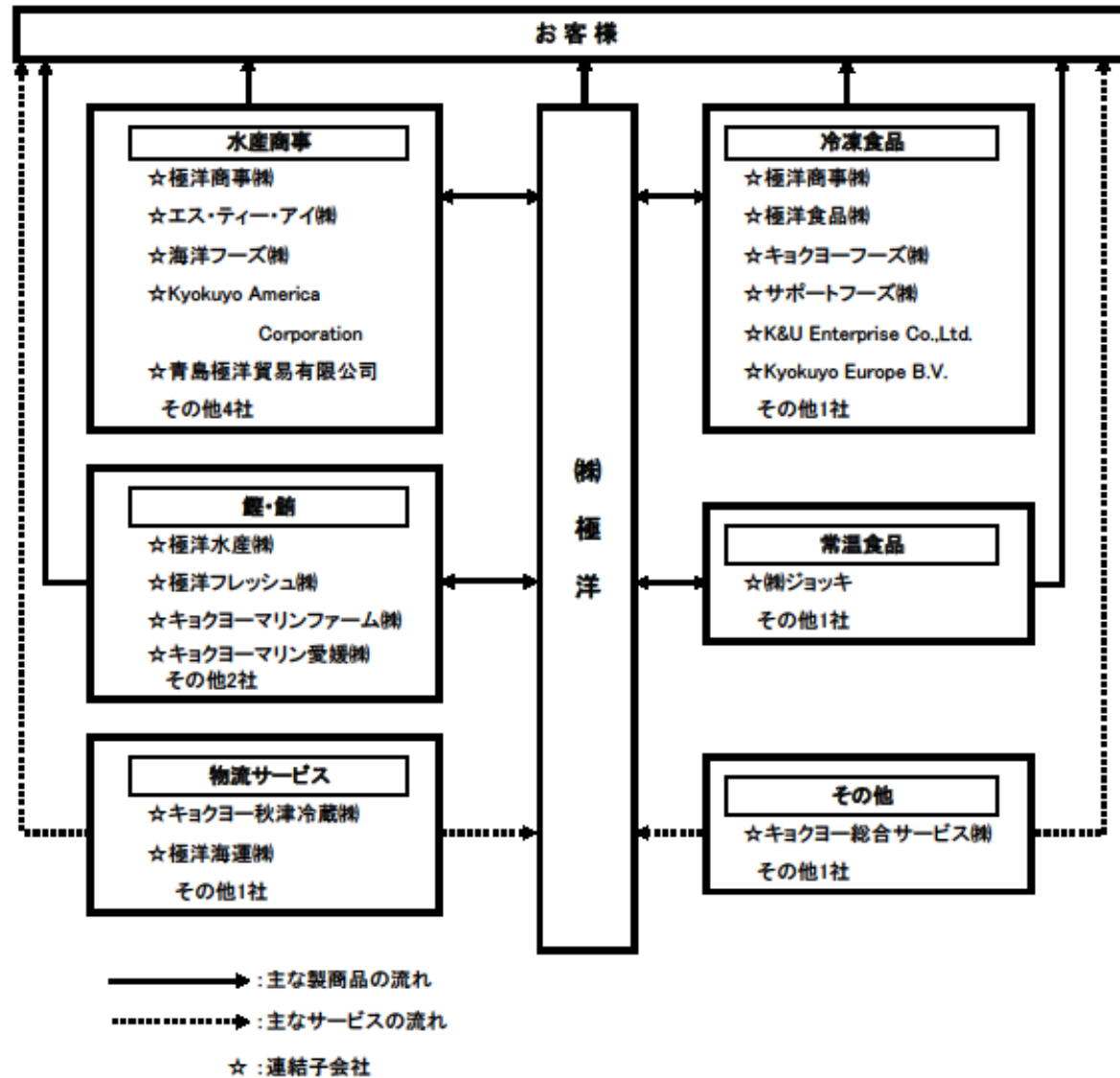
- ・日本配合飼料(株)とその連結子会社である南洋漁業(株)との間で、クロマグロおよびその他水産物の種苗生産、養殖、加工・販売の分野における包括的な業務提携を行うことで合意

## ■ 女性中心の商品開発プロジェクトチーム (2012年1月)

- ・女性の感性を重視した市場調査を通して、「極洋らしい」商品開発を目指し活動中
- ・2012年春の新商品として、プロジェクトチーム発案商品「えびクリーム春巻」と「かにクリーム春巻」が  
外食店メニューに採用



# 企業集団の状況(2012年3月末現在)



極洋及び連結子会社26社(前期末から2社増)、関連会社2社より構成

## 1. 連結損益計算書

前期比増収・当期純利益で増益 当初予想比増収減益

(単位:百万円)

	11年3月期	12年3月期	前期比		当初予想比	
			(増減金額)	(増減比率)	当初予想	(増減比率)
売上高	162,731	181,885	19,154	11.8%	174,000	4.5%
営業利益	1,588	1,636	47	3.0%	3,200	△ 48.9%
営業外収益	631	574	△ 56	—	—	—
営業外費用	436	503	66	—	—	—
経常利益	1,783	1,707	△ 75	△ 4.2%	3,000	△ 43.1%
特別利益	42	153	111	—	—	—
特別損失	970	19	△ 951	—	—	—
当期純利益	58	423	364	626.4%	1,700	△ 75.1%

- ・当初予想は、11年5月13日に発表した12年3月期業績予想数値です。
- ・売上高は、物流サービス事業を除き前期比増収、当初予想も上回る。
- ・営業利益は、物流サービス事業の不振な中、冷凍食品事業、鯉・鮪事業は前期を上回る。
- ・営業外収益は外国為替差益減などで前期比減。
- ・営業外費用は支払利息増などにより前期比増。
- ・経常利益は前期及び当初予想を下回る。
- ・特別利益は、固定資産売却益を計上。
- ・当期純利益は前期を上回るも、当初予想は下回る。

## 2. 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	11年3月末	12年3月末	前期比
流動資産	56,145	64,824	8,679
固定資産	20,779	20,113	△ 666
資産合計	76,925	84,937	8,012
	負債の部		
	11年3月末	12年3月末	前期比
流動負債	50,190	58,730	8,539
固定負債	9,178	8,995	△ 182
負債合計	59,369	67,725	8,356
	純資産の部		
	11年3月末	12年3月末	前期比
純資産合計	17,555	17,212	△ 343
負債純資産合計	76,925	84,937	8,012

### 主な増減内訳(対前期比)

#### 流動資産

[受取手形・売掛金] 48億円

[商品及び製品] 31億円

#### 固定資産

[有形固定資産] △7億円

[投資その他の資産] 1億円

・投資有価証券 1億円

#### 流動負債

【短期借入金】 31億円

【CP】 50億円

#### 固定負債

【長期借入金】 △8億円

【退職給付引当金】 8億円

#### 株主資本

【利益剰余金】 △1億円

少数株主持分 △2億円

## 3. キャッシュ・フロー計算書(連結)

	11年3月期	12年3月期	当連結会計期間の主な内訳	
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円) △5,079	(百万円) △5,297	税金等調整前当期純利益	18億円
			減価償却費	18億円
			売上債権増	△48億円
			たな卸資産増	△41億円
			法人税等の支払	△16億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,077	△ 1,006	固定資産の取得	△11億円
			固定資産の売却	2億円
財務活動による キャッシュ・フロー	8,837	6,434	短期借入金増	33億円
			コマーシャルペーパー増	50億円
			長期借入金減	△10億円
			配当金支払	△5億円
現金及び現金同等 物に係る換算差額	△ 29	△ 14		
現金及び現金同等 物の増減額	650	116		
現金及び現金同等 物の期首残高	2,672	3,322		
現金及び現金同等 物の期末残高	3,322	3,438		



## 4. (連結)経営指標

	11年3月末	12年3月末	前期比
純資産	17,555百万円	17,212百万円	△343百万円
自己資本比率	22.2%	20.0%	△2.2ポイント
商製品在庫金額	26,598百万円	29,790百万円	3,191百万円
在庫回転日数	52.8日	56.8日	4.0日
有利子負債	405億円	475億円	70億円
負債資本倍率(D/E レシオ)	2.3倍	2.7倍	0.4ポイント
自己資本利益率(ROE)	0.3%	2.5%	2.2ポイント
総資産経常利益率(ROA)	2.5%	2.1%	△0.4ポイント
売上高営業利益率	1.0%	0.9%	△0.1ポイント
1株当たり純資産	162円60銭	161円53銭	△1円7銭
1株当たり当期純利益	0円55銭	4円3銭	3円48銭
配当性向(%)	909.1%	124.1%	△785.0ポイント

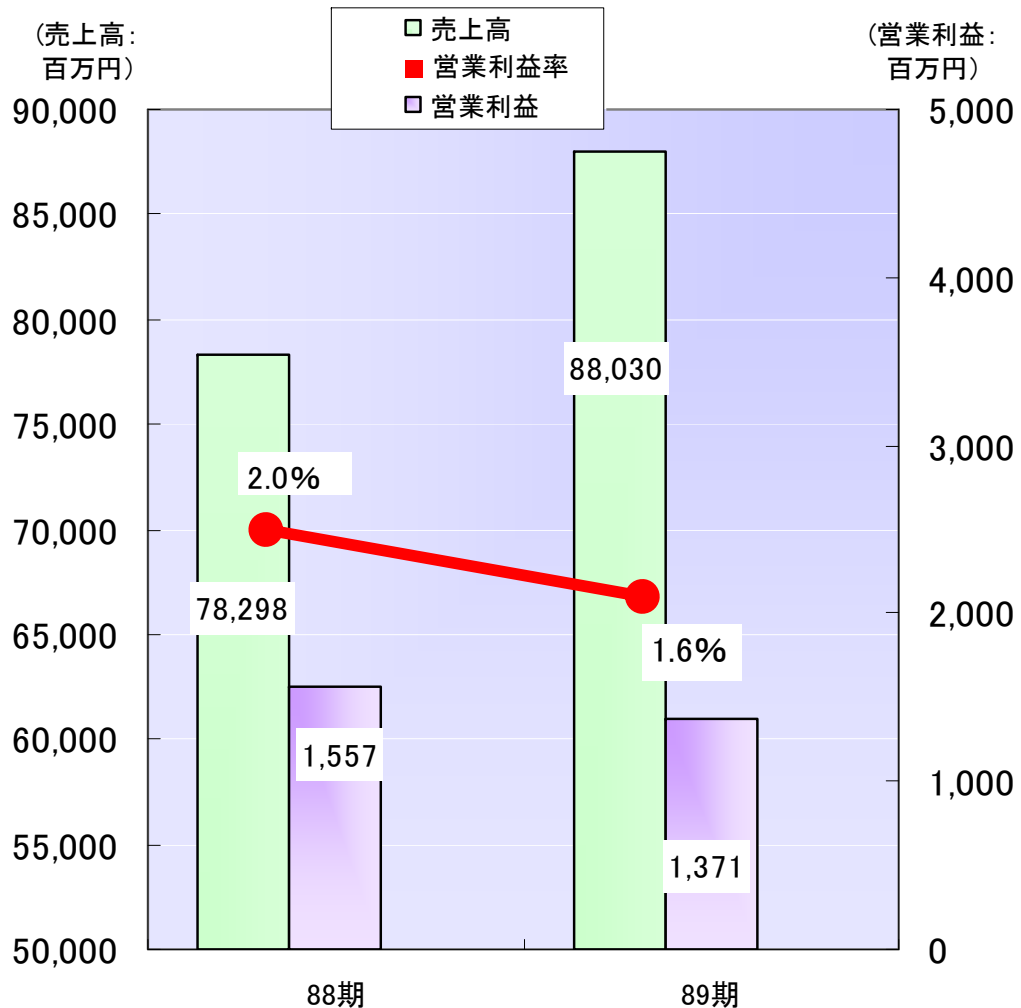
## 5. (連結)事業セグメント別売上高・営業利益(前期比較)

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	11年3月期 実績	12年3月期 実績	前期比	11年3月期 実績	12年3月期 実績	前期比
水産商事	78,298	88,030	9,731	1,557	1,371	△ 186
冷凍食品	42,340	48,640	6,299	247	546	299
常温食品	13,653	14,380	727	299	230	△ 68
物流サービス	3,948	3,524	△ 424	△ 385	△ 850	△ 465
鯉・鮪	24,425	27,231	2,806	356	634	278
その他・本部調整	63	77	14	△ 486	△ 295	191
合計	162,731	181,885	19,154	1,588	1,636	47

## 6. (連結)事業セグメント別概況、売上高・営業利益率

### (1) 水産商事事業—水産物の買付・販売

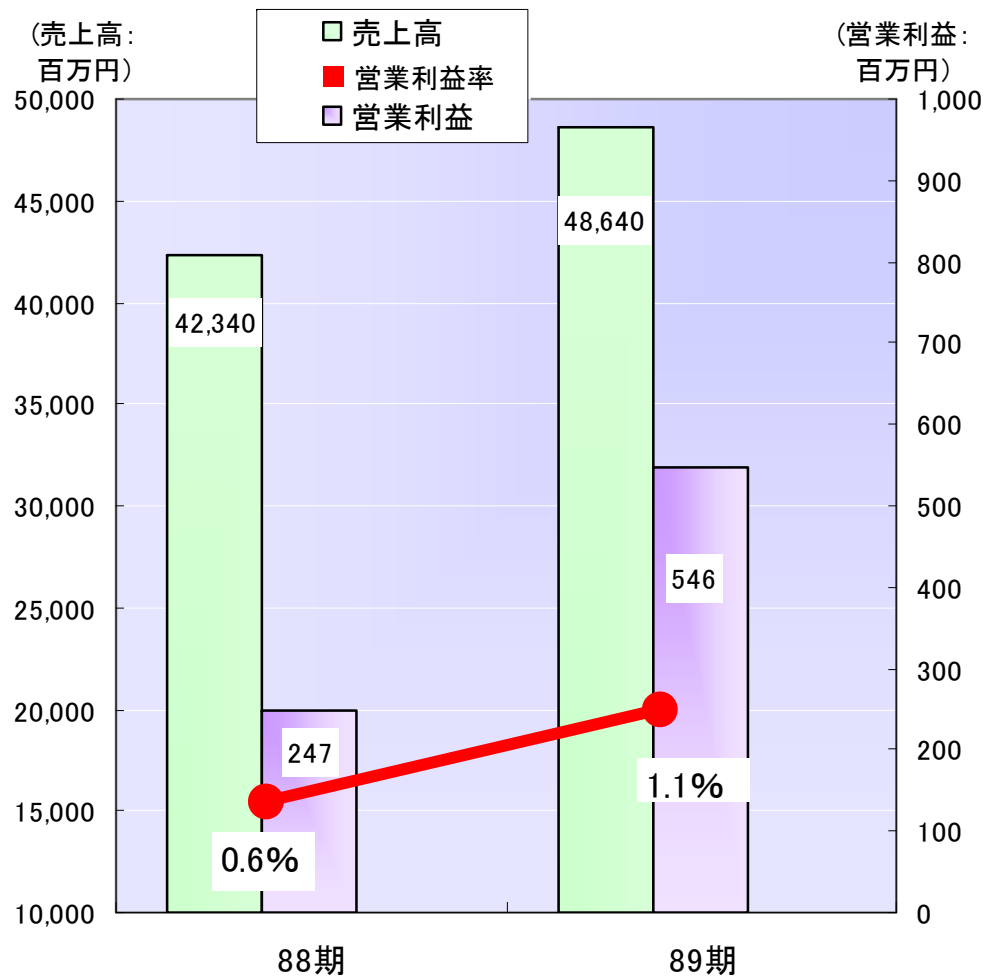


①上半期は、海外における水産物の買付価格の上昇、日本国内の冷凍魚に対する需要も高まり、水産物全般の市況は堅調に推移

②下半期以降、一部の魚種で急激な市況変動により国内販売環境悪化

③加工原料の積極的な取り扱い、定塩サケ製品やカニ・エビの剥き身などの付加価値商品の拡販に努めた。

## (2) 冷凍食品事業—水産・調理冷凍食品の加工及び販売



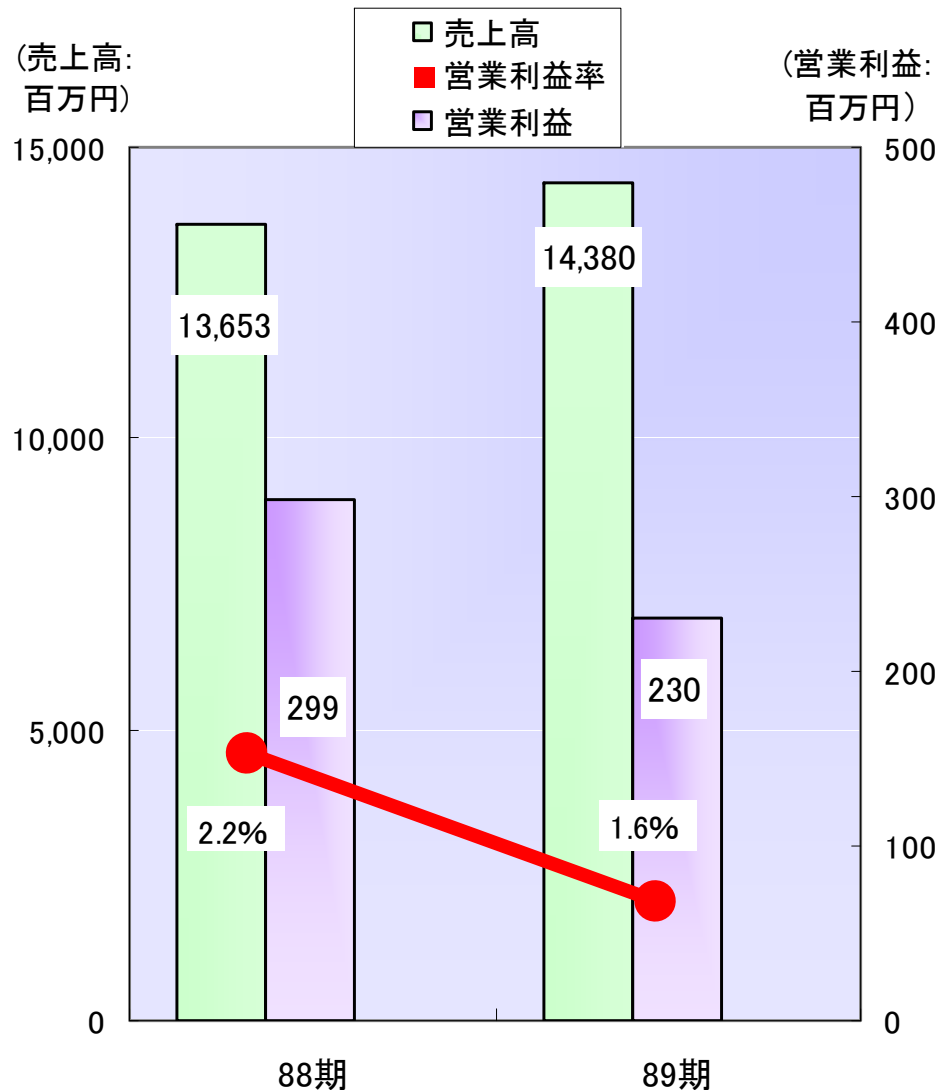
### 【水産冷凍食品】

- ① 寿司種・生食商材販売実績(鰹・鯖含)  
目標値(200億円)を達成 前期比14%増
- ② 大手回転寿司チェーンや量販店向けに  
拡販
- ③ エビ、イカなど主力商材は原料高騰の  
影響を受けた。
- ④ 骨なし切身、焼魚、煮魚を宅配ルート、  
医療給食ルート向けに拡販

### 【調理冷凍食品】

消費者の中食・内食傾向の強まりを背景に、量販店やコンビニ向けに水産フライ類や、エビ加工品及びカニ風味かまぼこなどを拡販

## (3) 常温食品事業一缶詰・練製品他の加工及び販売



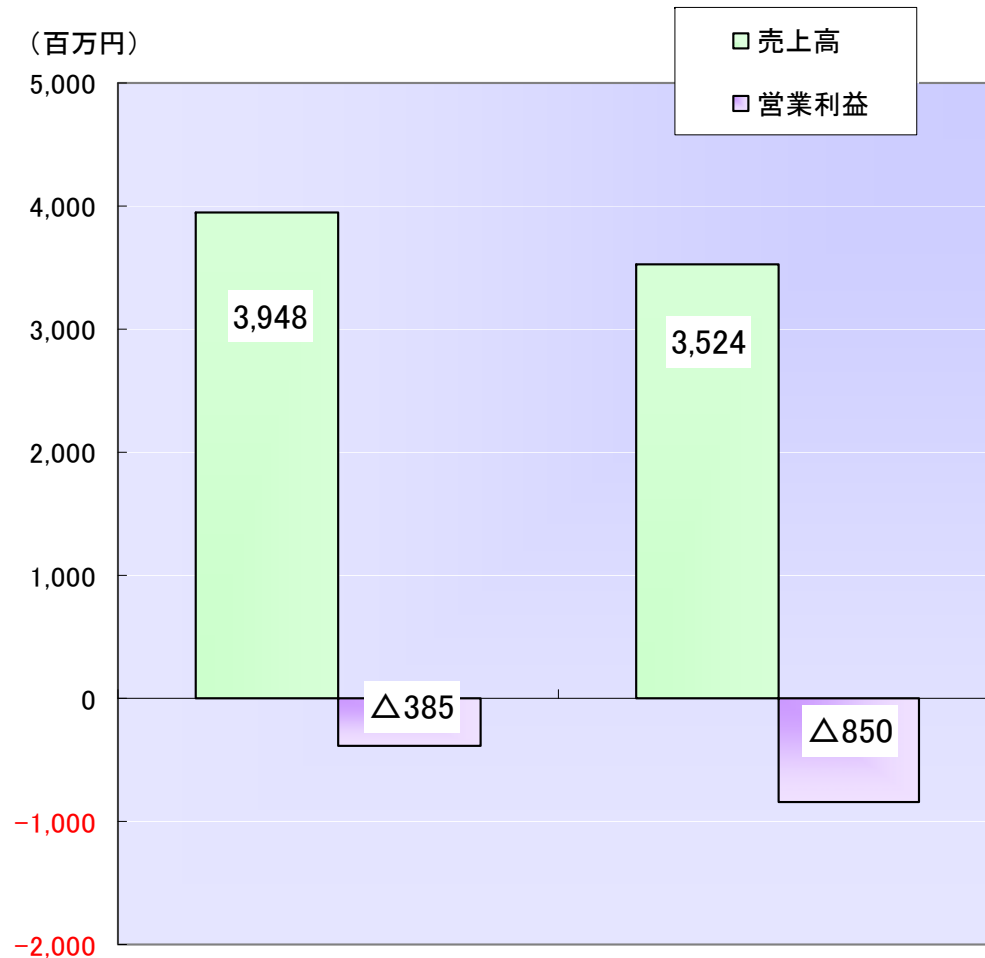
### 【缶詰】

- ① 震災により、一部の協力工場が被災、水産缶詰の供給が減少
- ② ツナ缶などの輸入缶詰、国産畜肉・フルーツ缶詰を拡販

### 【ドライフード・海鮮珍味】

既存取引先への拡販を主軸に、販売ルート of 拡充、新規商材開発に努めた。

## (4) 物流サービス事業—冷蔵倉庫事業、冷蔵運搬船事業



### 【冷蔵倉庫事業】

原料保管中心から加工食品なども取り扱い、配送機能も含めた物流型への対応に努め、前期比増収増益

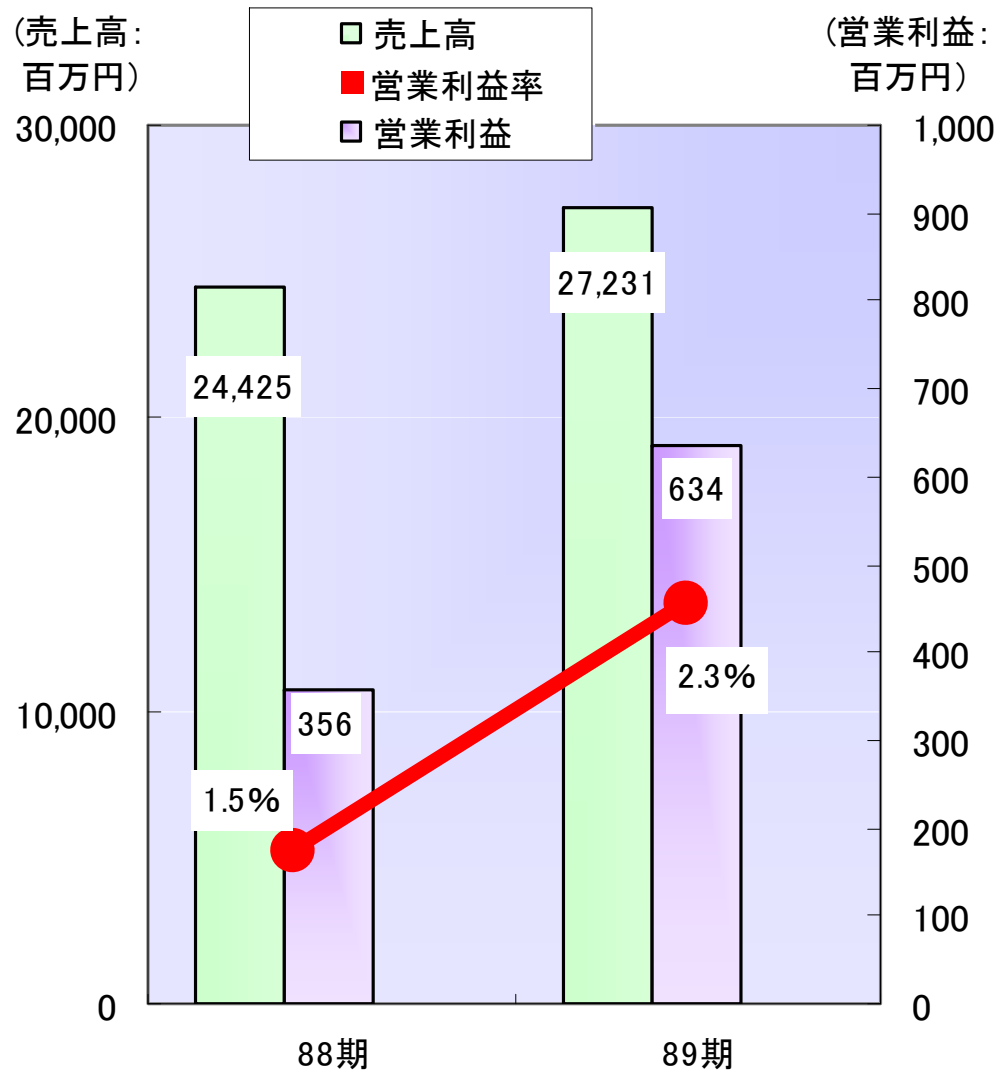
### 【冷蔵運搬船事業】

事業環境の悪化が続き損失拡大  
保有船舶2隻売却し船隊をスリム化

#### (事業環境悪化要因)

- ・コンテナ船との競争激化による 運賃市況下落
- ・天候不順による主力貨物であるバナナの不作
- ・経済危機などによる欧州の購買力低下
- ・急激な円高
- ・燃油価格高騰

## (5) 鰹・鮪事業—鰹鮪加工及び販売事業・海外まき網事業・養殖事業



### 鰹鮪加工及び販売事業

#### 【海外まき網事業】

- ① 震災による、期初操業一時中断の影響もあり、水揚げ数量は前期比減少
- ② 魚価は堅調推移

	11年3月期	12年3月期	前期比
水揚げ数量(トン)	30,986	23,110	△ 7,876
水揚げ金額(百万円)	4,517	4,312	△ 205
単価(円/KG)	146	187	41

#### 【養殖事業】

販売、本鮪の成育状況とも順調

#### 【鰹鮪加工及び販売事業】

大手回転寿司チェーンや量販店向け拡販に努めるも原料価格高騰の影響を受ける。

## 7. 単独損益計算書

### 前期比、当初予想比ともに増収減益

(単位:百万円)

	11年3月期	12年3月期	前期比		当初予想比	
			(増減金額)	(増減比率)	当初予想	(増減比率)
売上高	148,009	165,737	17,727	12.0%	151,000	9.8%
営業利益	2,080	1,809	△ 270	△ 13.0%	2,300	△ 21.3%
経常利益	2,187	1,881	△ 306	△ 14.0%	2,200	△ 14.5%
当期純利益	706	672	△ 33	△ 4.8%	1,300	△ 48.3%

- ・当初予想は、11年5月13日に発表した12年3月期業績予想数値です。
- ・売上高は、水産商事、冷凍食品、常温食品、鯉・鮪とも前期比増収。
- ・営業利益は冷凍食品は前期比増益。

一方、水産商事は下半期の急激な市況変動を受け、常温食品、鯉・鮪は原料買付価格高騰などの影響で減益。



## 8. (単独)魚種別品種別 売上数量・金額・単価

### (1)水産商事事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円//KG)

	11年3月期			12年3月期			前期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
鮭鱒	30,067	19,598	652	36,103	23,079	639	6,036	3,481	△ 13
南方魚	6,864	4,096	597	7,257	4,449	613	393	353	16
北洋魚	41,163	17,027	414	40,728	19,253	473	△ 435	2,226	59
エビ	20,731	17,818	859	20,892	18,405	881	161	587	22
カニ	4,206	7,337	1,744	3,927	7,893	2,010	△ 279	556	266
鯆鯖鰯	7,781	2,453	315	8,385	2,666	318	604	213	3
魚卵	5,067	5,393	1,064	5,215	5,710	1,095	148	317	31
その他	7,474	4,520	605	7,148	4,380	613	△ 326	△ 140	8
計	123,353	78,242	634	129,655	85,835	662	6,302	7,593	28

## (2) 冷凍食品事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円/KG)

	11年3月期			12年3月期			前期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
水産冷凍食品	30,019	25,967	865	36,290	31,696	873	6,271	5,729	8
調理冷凍食品	25,264	13,749	544	25,576	14,242	557	312	493	13
計	55,283	39,716	718	61,866	45,938	743	6,583	6,222	25

## (3) 常温食品事業

(金額:百万円)

	11年3月期	12年3月期	前期比
缶詰・珍味製品他	9,465	9,826	361

## (4) 鰹・鮪事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円/KG)

	11年3月期			12年3月期			前期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
鰹鮪(買付・加工品)	24,650	19,881	807	23,028	23,372	1,015	△ 1,622	3,491	208

中期経営計画  
「キョクヨーグループチャレンジ2012」の  
総括

## 1. 最終年度(2012年3月期)実績と計画比

売上高は当初計画を上回るも、利益及び経営指標は目標未達

	計 画	実 績	計 画 比
売上高	1,770億円	1,818億円	48億円
営業利益	42.5億円	16.3億円	△26.2億円
経常利益	40.0億円	17.0億円	△23.0億円
自己資本利益率 (ROE)	10%	2.5%	△7.5ポイント
自己資本比率	30%	20.0%	△10.0ポイント

## 2. 成果と課題

基本方針	キョクヨーグループの有する 独自性・優位性の一層強化 →既存事業の収益安定化	成長が期待される分野への 積極的な挑戦 →収益基盤の拡大	環境の変化に耐えうる 財務体質の維持強化
成果	<p>調達力強化、付加価値製品の拡販(水産商事事業)</p> <p>寿司種商材の拡販 売上200億円体制の確立 (冷凍食品事業・鰹・鮪事業)</p> <p>大手量販店、コンビニルートへの拡販(常温食品事業)</p>	<p>M&amp;Aによる事業基盤拡充 (新規3社)</p> <p>本鮪養殖事業の拡充 (新規1社設立及び 日本配合飼料との業務 提携)</p>	<p>CP発行 50億円</p>
課題	<p>冷蔵運搬船事業の再構築</p> <p>資源確保のためのアクセス強化</p>	<p>シナジー効果の発揮</p>	<p>在庫及び有利子負債の適正化</p>

# 新中期経営計画 「パワーアップキョクヨー2015」

## 1. 新中期経営計画「パワーアップキョクヨー2015」 (2012年4月～2015年3月期)の基本方針

キョクヨーグループの優位性を強化、拡充し、  
安心・安全で競争力のある商品の提供により、  
グループ企業価値の最大化を実現する。



『加工戦略』、『グローバル戦略』を更に深化させると共に、  
拡大したグループ会社間の相乗効果を最大限発揮する為、  
新たに『シナジー戦略』を加え、  
目標達成に向けて取り組みます。

## 2. 新中期経営計画の最終年度(2015年3月期)目標値

売上高	2,000億円
営業利益	50億円
ROE (自己資本当期純利益率)	10%
自己資本比率	30%
D/Eレシオ (有利子負債資本倍率)	2倍以内

### [セグメント別目標値]

【単位:億円】

	水産商事	冷凍食品	常温食品	鰹・鮪	その他	合計
売上高	950	550	150	300	50	2,000
営業利益	21	12	4	12	1	50



### 3. 事業セグメント別施策

#### (1) 水産商事事業

- ・ 水産物についての豊富な経験、  
国内外サプライヤーとの持続的な関係強化による  
**高品質な水産物の安定供給維持**
- ・ お客様のニーズを的確に捉えた**高付加価値製品の取扱拡大**
- ・ 海外現地法人のネットワーク・三国間貿易の取組強化による  
**海外マーケットの深耕**

## (2) 冷凍食品事業

- ・ **事業展開フィールドの拡大**
  - 市販冷食への進出
  - マーケットに対応した商品開発
  - 生産技術のレベルアップ
- ・ **寿司関連事業の更なる強化**
- ・ **海外向製品の販売拡大**
  - 海外展開を進めている取引先との一層の連携強化
  - 東アジア中心に販路拡大
- ・ **生産拠点の分散化、最適生産体制の構築**
  - 国内直系工場の再構築、国内外新規生産拠点開拓

### (3) 常温食品事業

- ・国内外の加工拠点の確保、協力体制強化による加工基盤安定化
- ・原料調達や生産拠点のグローバル展開→競争力、価格対応力のある商品開発
- ・海外まき網事業との協業など原料から製品までの一貫した商品開発
- ・海産物珍味加工品の製品アイテム拡充
- ・BtoC向け商品開発

## (4) 鰹・鮪事業

### 【海外まき網事業】

- ・カツオ・マグロ資源へのアクセスを重視し、島嶼国との連携強化による、  
**海外合弁事業の定着化・拡充**

### 【養殖事業】

- ・**鮪養殖事業1000トン出荷体制の構築**
- ・日本配合飼料(株)との協業による**完全養殖事業を軌道に**

### 【加工及び販売事業】

- ・高付加価値商品の**開発拡販**
- ・**国内外生産拠点の整備拡充**
- ・**鮪原料買付けルートの拡充**

## (5) その他事業

### 【冷蔵倉庫事業】

積極的な集荷、サービスの向上、業務品質の改善  
増庫対策

### 【冷蔵運搬船事業】

市場規模に見合った船隊へのスリム化

### 【事業支援及び管理部門】

財務体質の強化、自己資本比率の向上、キャッシュ・フローの改善  
有利子負債、リスク資産の削減  
環境に配慮した経営の徹底  
災害時における事業継続計画(BCP)の策定、体制の整備

# 2013年3月期業績予想及び施策

## 1. 基本方針

中期経営計画「パワーアップキョクヨー2015」の初年度として、

(1) 国内外加工拠点を拡充、高付加価値商品、  
マーケット対応商品の開発促進

(2) 海外現地法人のネットワークを活用し、海外マーケットの  
深耕と海外展開を進める取引先との連携強化

(3) グループ企業間の相互連携による相乗効果発揮

(4) 適正在庫水準の維持と有利子負債の適正化

を基本方針に、目標の実現に向け、利益率の向上を図る。

連結・個別とも増益を見込む。

## 2. 連結業績予想

(単位:百万円)

	12年3月期 実績	13年3月期 予想	前期比	
			増減金額	増減率
売上高	181,885	185,000	3,115	1.7%
営業利益	1,636	3,200	1,564	95.6%
(営業利益率)	0.9%	1.7%	0.8%	—
経常利益	1,707	3,100	1,393	81.6%
(経常利益率)	0.9%	1.7%	0.8%	—
当期純利益	423	1,800	1,377	325.5%

## 3. 単独業績予想

	12年3月期 実績	13年3月期 予想	前期比	
			増減金額	増減率
売上高	165,737	166,000	263	0.2%
営業利益	1,809	2,300	491	27.1%
(営業利益率)	1.1%	1.4%	0.3%	—
経常利益	1,881	2,300	419	22.3%
(経常利益率)	1.1%	1.4%	0.3%	—
当期純利益	672	1,400	728	108.3%



## 4. 事業セグメント別連結売上高・営業利益予想

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	12年3月期 実績	13年3月期 予想	前期比	12年3月期 実績	13年3月期 予想	前期比
水産商事	88,030	88,000	△ 30	1,371	1,700	329
冷凍食品	48,640	50,000	1,360	546	950	404
常温食品	14,380	15,000	620	230	350	120
物流サービス	3,524	4,000	476	△ 850	△ 200	650
鯉・鮪	27,231	28,000	769	634	950	316
その他・本部 調整	77	0	△ 77	△ 295	△ 550	△ 255
合計	181,885	185,000	3,115	1,636	3,200	1,564

## 5. 事業セグメント別施策

### (1) 水産商事事業

- 1) 付加価値商品の開発、販売ルートの開拓
  - ・チリ産サーモンなど、生食用商材の拡大
  - ・海外販売の拡大
  
- 2) 協業体制によるシナジー効果の発揮
  - ・海外現地法人との協業強化による仕入ルート、海外加工拠点の拡大
  - ・グループ会社との相互連携による拡販
  
- 3) 在庫管理の徹底
  
- 4) 安心安全な商品の安定供給
  - ・トレーサビリティの確かな原材料、製品の取り扱い
  
- 5) 環境の変化に対応できる人材の育成

## (2) 冷凍食品事業

- 1) 寿司商材のさらなる拡販による売上拡大
  - ・寿司種・生食チームの活用
  
- 2) 国内外の生産拠点の見直し、特に国内直系工場の稼働率向上
  - ・生産アイテムの見直し、集約化による生産効率のアップ
  
- 3) 海外製品の収益率向上
  - ・既存品のリニューアル化、新製品の市場投入促進
  
- 4) 市販冷凍食品参入への足固め
  - ・全社的なプロジェクトチームによる商品開発、ブランド構築

## (3) 常温食品事業

### 1) 市場優位性のある商品の導入

- ・グループ所有船わかば丸による漁獲原料を使用したツナ缶詰

### 2) 海外生産品の取り扱い拡大、コスト競争力強化

### 3) 中部以西地区シェア拡大

## (4) 物流サービス事業

### 【冷蔵倉庫事業】

- ・積極的な集荷、サービスの向上の推進
- ・増庫の検討

### 【冷蔵運搬船事業】

- ・スポット契約から年間契約への獲得
- ・船隊のスリム化促進

## (5) 鯉・鮪事業

### 【海外まき網事業】

- ・海外合弁事業を活用した島嶼国水域での操業による操業効率向上

### 【養殖事業】

- ・キョクヨーマリン愛媛の本鮪、今秋初出荷
- ・孵化事業の本格化
- ・再生可能資源の確保に向けた事業スキームの検討

### 【加工及び販売事業】

- ・安定的な原料買付けルートの構築
- ・工場稼働のローコストオペレーション
- ・高度加工品及び生鮮養殖本鮪の販売ルート確立

## 6. 設備投資計画

		通期合計
極洋	生産設備増強	1億円
	養殖設備増強	1億円
	ソフトウェア関連	3億円
	その他	1億円
	計	6億円
関係会社	生産設備の増強、改修	3億円
	まき網船 設備新替他	2億円
	その他	3億円
	計	8億円



本資料は2012年3月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的として作成しており、必ずしも投資をお勧めするものではありません。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。したがって実際の業績は、様々な要因により、これらの予想と異なることがありますのでご承知おきください。



### 当資料に関する問い合わせ窓口

株式会社 極洋 企画部 電話03-5545-0703